

散らカラ〜ズ

エコプラス



+ ECO

ゴミ問題に
朗報

黄色い目かかし
カラスに



CO₂削減率 25%

散らカラ〜ズ
エコプラス



(特許出願中)

人間が見ると半透明。なのにカラスには中が見えないフシギなゴミ袋。

カラスは人間よりも黄色い色調を強く感じる目をもっています。
人間には半透明の黄色い袋でもカラスには中身が見えません。
その性質を利用したのが「散らカラ〜ズ」です。

※この袋は「餌を断つ」ことに視点をおきました。効果は環境により異なります。

●お問い合わせ

実験の様子 協力：宇都宮大学



カラスが袋を見て確かめているのが分かる



市販の半透明袋だけが荒らされた

植物のチカラで CO2 の排出量を減らす『カーボンニュートラル』

本製品には 30% 以上の植物由来バイオマスプラスチックを使用しています。バイオマス素材は、もともと大気中の CO2 を光合成により吸収して固定化したもの。

そのため、燃焼時に CO2 が発生しても実質的に大気中に CO2 を増加させない、という考え方です。

二酸化炭素削減シミュレーション 単位: kg

項目	一般ゴミ袋	環境配慮タイプ 米率 30%	
組成	PE:100%	PE:50% BT樹脂:43%	CO2 25% 削減
焼却処理	3.14	2.73	焼却時の発生量
吸収(△)	0	▲0.55	バイオマスの吸収量
基本原料製造	1.42	1.04	ペレット原料製造時の発生量
コンパウンド製造	0	0.13	BTペレット原料製造時の発生量
フィルム加工	0.28	0.28	製品加工工程の
CO2合計	4.84	3.63	二酸化炭素排出量の合計
比率(%)		25%	削減率

※ ペレット原料、成型品は概算理論値となります。
 ※ 原料調達や、製品完成後の配送にかかるCO2排出量は含んでおりません。
 ※ 当社独自の調査に基づくデータとなります。

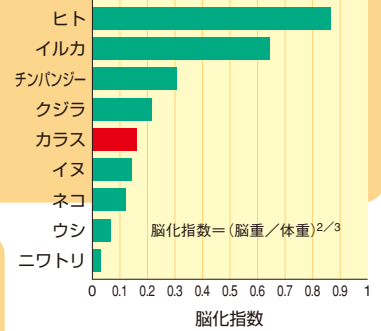
カラスのはなし

脊椎動物門 鳥綱 スズメ目 カラス科

日本の住宅地に見られるカラスの多くは、ハシブトガラスとハシボソガラスです。くちばしの太いハシブトガラスは都市部に多く、くちばしの細いハシボソガラスは郊外に多い傾向にあります。どちらもたいへん頭が良く、好奇心も旺盛で、近年そのことがしばしば人の暮らしにトラブルを招いています。その顕著な例がゴミを散らかすことで、多くの街がその対策を迫られています。

頭→とてもイイ

生物の知能の目安とされる「脳化指数」がイヌやネコより高く、好奇心と学習能力に優れている。ニワトリの脳と比べると、重さは3倍、神経細胞は6倍!



目→とてもイイ

視力(細かいものを見つける能力)は人の3倍。色覚も視野の広さも人より高い能力。

耳→あまり良くない

人より聞こえる周波数が狭く、高い音、低い音が聞こえない。人の可聴域…20~2万ヘルツ
カラスの可聴域…200~8千ヘルツ

鼻→見かけだけ

嗅覚は鈍く、食べ物の嗅ぎ分けはムリ。大きな鼻の穴は呼吸用。

味覚→マヨラー

豊富な食材(ゴミ)により味にうるさくなった。肉や脂肪分を好んで口にする。刺激の強いものは好まない。

くちばし→大きくて強い

たいへん鋭く、破壊力、貫通力に優れる(圧力紙による測定は150kg/mm²)。ただしくちばしによる人への攻撃はほとんど無い。

足→強い

ツメは鋭く握力も強い。繁殖期に人を威嚇・攻撃するのも足によるもの。

体→軽くて逞しい

大きな翼で飛行能力も高い。しかしその反面、贅肉は全くなく、食べなければ即、飢えにつながる。体重はニワトリの半分以下。

触覚→ピンカン

ふわふわ、ベタベタが嫌い。

散らカラ〜ズ エコプラス



ここで

なぜ見えないの?

散らカラ〜ズは半透明なのに、目が良いはずのカラスはなぜ中が見えないのでしょうか。

多くの鳥類は網膜の視細胞に油球という組織があります。

色を識別するフィルターの役割を果たし、カラスはこの組織が多く色覚に優れています。しかしこの油球のせいで、色を強く認識しすぎるため、半透明の袋が「真っ黄色」に塗りつぶされたように見えてしまうのです。

散らカラ〜ズ 規格一覧	サイズ(mm)	パッケージサイズ (縦×横・mm)	梱包数 (1ケース)
低密度ポリエチレン使用	0.03 ×500× 700	300×230	60(10×6)冊
	0.03 ×650× 800	380×230	60(10×6)冊

三井化学ファブロ株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-6

URL <http://www.fabro.co.jp>